

村山地域民有林・国有林連携推進会議を開催しました

令和4年7月20日(水)、山形県西村山振興局会議室で令和4年度村山地域民有林・国有林連携推進会議を開催しました。

この会議は、山形県村山地域に所在する県・国の林務関係組織である山形県村山総合支庁森林整備課、山形県森林研究研修センターと当署が参集して、それぞれ当年度の事業計画や取組事項等について情報交換を行うこととして毎年開催しているものです。

当日は、森林環境譲与税の活用の促進、地域材のブランド化、再造林コストの低減といった林政を巡る課題について情報交換を行ったほか、当地域に所在(大江町)する(有)庄司林業の庄司樹社長をお迎えして「ICTをとりいれた林業と現場の声」と題して講演をいただきました。

講演では、昨年度の東北森林管理局技術交流発表会で発表いただいた、ドローンによる赤外線レーザ計測成果を木材生産の効率化に活用した事例のほか、宇宙ビジネスを林業にも展開して衛星を利用して森林経営の効率化ができないかといったスケールの大きな話題から、木材生産を進めていく上で公道の橋梁の荷重制限がネックとなることがあるといった直面する問題まで、様々な切り口から課題が提示され、参加者間で共有することができました。

村山地域の国有林を管轄する当署では、引き続き、地域の民有林行政・研究機関等との連携を進めながら、共通する課題の解決に取り組んでまいります。

